

事業報告等－決算－ (2024 年度)

1. (前年度) 事業報告
2. 貸借対照表
3. 正味財産増減計算書
4. 財産目録
5. 収支計算書

公益社団法人食品容器環境美化協会

2023年度事業報告

1 はじめに

当協会は、2023年度に、法人化して42年目、公益社団法人として再発足して13年目を迎え、これまで積み上げられてきた事業実績を踏まえつつ、第7期中期計画の最終の年度として、経済社会生活が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前の状況に戻りつつある中、当協会事業も従前の内容に復し、その設立目的を達成すべく諸事業を展開した。

(1) 会 員

会員は、2024年3月31日現在、コカ・コーラ協会、一般社団法人全国清涼飲料連合会、一般社団法人全国トマト工業会、一般社団法人日本果汁協会、日本コーヒー飲料協会、ビール酒造組合の6団体である。(別紙1)

(2) 役 員

役員は、2024年3月31日現在、理事9名（うち会長1名、専務理事1名）及び監事2名である。(別紙2)

2 各事業の執行状況報告

2023年度においては、引き続き、アダプト・プログラムの普及推進、環境美化実践教育支援、その他各種まち美化啓発活動を展開する等により、地方連絡会議の活動強化を図り、各般にわたる飲料容器の散乱防止対策を推進した。

(1) アダプト・プログラムの普及推進

アダプト・プログラムは、行政と市民のパートナーシップで進める継続的なまち美化プログラムで、有効な散乱防止対策の一つである。

海洋プラスチック問題の対策の一つとして国のアクションプランに掲げられていることも踏まえ、その一層の普及・定着を図った。

情報センターとしての機能強化

ホームページを活用して、全国普及状況などアダプト・プログラムに関する情報提供を行った。

また、自治体実務担当者を対象にワークショップを開催するとともに、導入自治体に対するアンケート調査を実施した。

なお、2024年3月現在、アンケート調査、自治体ホームページ等をもとに当協会が把握している導入地方自治体数は517であり、推計の参加団体数約5万8千、活動者数約240万人である。

アダプト・プログラム助成制度の実施

アダプト・プログラム活動団体を支援し、アダプト・プログラムの一層の奨励とその普及を図るため、「アダプト・プログラム助成制度」を引き続き実施した。

助成金コースのほか、清掃グッズ（ビブス、トング）を直接支給するコースの2つのコースで募集を行い、全国から、助成金コース169団体、清掃グッズコース63団体、総数232団体の応募があり、審査委員会で審査の上、助成金コース31団体、清掃グッズコース43団体、総数74団体に助成を行った。
（別紙3 助成実施団体一覧）

地域における普及活動の強化

アダプト関係団体の広報誌発行支援を通じて、アダプト助成事業等のPRを行うとともに、当該団体の活動助成を行った。

また、特色あるアダプト活動として、ジョギングをしながらごみを拾う「プロギング岐阜」（岐阜県岐阜市）を訪問取材し、活動の概要をホームページに掲載した。

（2）環境美化実践教育支援

社会の持続可能性を高めるという観点から、次世代に向けた環境教育に取り組む姿勢が社会全般に一層高まっていることを背景に、環境美化教育優良校等表彰事業を引き続き実施するとともに、環境美化・リサイクル推進に関する有

効な情報を教育現場に提供した。

第24回環境美化教育優良校等の表彰

公共の場所における環境美化や飲料空き容器等のリサイクルについて、実践的な教育を行い、地域の環境美化にも大きく寄与している小中学校等を対象とした環境美化教育優良校等表彰事業を、文部科学省、農林水産省、環境省の後援を得て実施した。

本年度は、各地方連絡会議を通して、全国38の都道府県からの推薦を受け、審査委員会での審査選考の結果、最優秀校4校、優秀校6校、優良校28校を決定し表彰した。(別紙4 表彰校一覧)

最優秀校が一堂に会した表彰式典を東京において開催するとともに、優秀校、優良校については各地域で地方連絡会議より表彰状の伝達を行った。これらについてはホームページを通じて紹介をし、式典、表彰伝達式については、全国新聞地域版、地方新聞、業界及び教育関係紙合わせて58件、インターネットWEBサイト274件、TV1件で報道された。

環境学習ノウハウの情報収集及び情報発信

- ① 第24回環境美化教育優良校等表彰事業による表彰校の環境美化の活動が広く知られ全国的な展開につながるよう、表彰校の活動内容取材し、ホームページに掲載した。

また、「こども環境学会」の大会に参加し、過去と直近の最優秀校の推薦資料をAIに読み込ませて比較、分析した、環境教育と社会的な環境課題の関係性について、ポスターセッションにて発表した(別紙5)。

- ② 当協会が小学校教員向けに編集した「資源になる!ごみから考える環境学習ガイドブック」(2022年3月改定)の配布を行うとともに、ダウンロード版については、年度末にデータ更新等を行った。

なお、同ガイドブックは、「消費者教育教材表彰2023」(公益財団法人消費者教育支援センター主催)の消費者団体・NPO部門で優秀賞を受賞した。

また、インターネット上の学習教材「まち美化キッズ」を引き続きホームページ上に提供した。

その他

文部科学省による表彰事業「社会に開かれた教育実践奨励賞」（令和2年度創設）の推薦団体に、引き続き当協会が選ばれ、2022年度環境美化教育優良校等表彰事業の最優秀校から2校を推薦したところ、うち1校（秋田県大仙市立大曲南中学校）が受賞するに至った。

（3）散乱防止の啓発

飲料メーカー等の協力の下、統一美化マークを自動販売機等に貼付することを通じて散乱防止の呼びかけを行うとともに、地方自治体の散乱防止啓発活動（美化キャンペーン等）に協賛・協力し、その一環として、キャンペーン用資材（持ち帰り袋、ポケットティッシュ、再生紙メモ帳等）の提供・配布を行った。

また、北海道及び埼玉県の環境ポスターコンクールに協賛・協力した（別紙6）。

（4）広報活動及び情報収集・提供の充実

- ① ホームページによる情報発信に努めるとともに、「こども環境学会大会」の発表の機会などを捉えてプレスリリース配信サービスを利用した広報を実施した。
- ② 「食環協ニュース」については、アダプト・プログラム助成団体及び環境美化教育の表彰校を紹介する各号のほか、設立50周年の事業として記念号の発行を行った。

（5）地方連絡会議

地方連絡会議のメンバーを参集するブロック別の会議（於 東京、大阪、福岡の3ヶ所）を対面（ハイブリッド形式）では4年ぶりに開催し、当協会の概要、地方連絡会議の活動事例のほか、会員団体の活動を含む環境関係の最新情報を提供した（別紙7）。

また、新規のメンバーに対しては、必要により、オンラインも利用して個別に説明、調整を図るなど、地方連絡会議の体制維持、諸活動の推進を図った。

（６）その他

企画委員会を中心に、グループ別の討議を重ねるなど検討を進め、第８期中期計画（２０２４年度～２０２６年度）を策定した。

3 管理運営事項の報告

(1) 理事会及び総会

理事会

2023年

5月8日（月）（定款第32条の規定により決議があったとみなされた日）

- 第1号議案 2022年度事業報告及び附属明細書の承認に関する件並びに当該事業報告を2023年度通常総会に提出する件
- 第2号議案 2022年度正味財産増減計算書、貸借対照表及びこれらの附属明細書並びに財産目録の承認に関する件並びに当該正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を2023年度通常総会に提出する件
- 第3号議案 「2023年度の会費の額及び徴収の方法について」を2023年度通常総会に提出する件
- 第4号議案 役員候補者（大角亨氏）の承認に関する件
- 第5号議案 育児・介護休業等に関する規程の改正に関する件
- 第6号議案 「2023年度4月及び5月の業務報告」を2023年度通常総会に報告する件

10月3日（火）（定款第32条の規定により決議があったとみなされた日）

議案 理事候補者（加治木浩則氏）の承認に関する件

10月31日（火） 第1回理事会

於：AP 東京八重洲 Wルーム

- 第1号議案 監事候補者（山田（眞島）早苗氏）の承認に関する件
- 第2号議案 職務執行状況について（報告）

12月12日（火）（定款第32条の規定により決議があったとみなされた日）

- 第1号議案 職員就業規程等の改正に関する件
- 第2号議案 職員給与規程の改正に関する件

2024年

3月28日（木） 第2回理事会

於：AP 東京八重洲 Wルーム

第1号議案 第8期中期計画の承認に関する件

第2号議案 2024年度事業計画、収支予算並びに「資金調達及び設備投資の見込み」の承認に関する件

第3号議案 2024年度通常総会の招集に関する件

第4号議案 職務執行状況について（報告）

総 会

2023年

4月7日（金）（定款第28条の規定により決議があったとみなされた日）

議案 理事（津垣修一氏）の選任に関する件

5月30日（火） 通常総会

於：AP 東京八重洲 Wルーム

第1号議案 2022年度事業報告に関する件

第2号議案 2022年度正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認に関する件

第3号議案 2023年度の会費の額及び徴収の方法の決定に関する件

第4号議案 理事（大角亨氏）の選任に関する件

第5号議案 2023年度4月及び5月の業務報告に関する件

10月13日（金）（定款第28条の規定により決議があったとみなされた日）

議案 理事（加治木浩則氏）の選任に関する件

11月13日（月）（定款第28条の規定により決議があったとみなされた日）

議案 監事（山田（眞島）早苗氏）の選任に関する件

(2) 運営委員会及び企画委員会

運営委員会

2023年

4月25日(火) 第1回 於：食環協議室 (ハイブリッド)

- ・理事会、通常総会提出議案について
- ・理事の交代について
- ・育児・介護休業等に関する規程の改正について
- ・次の当協会専務理事の選任について
- ・役員候補者による「兼職届」の提出について

7月26日(水) 第2回 於：食環協議室 (ハイブリッド)

- ・業務執行状況について
- ・次期中期計画の検討状況について
- ・その他

10月31日(火) 第3回 於：AP 東京八重洲 Wルーム (ハイブリッド)

- ・令和5年度人事院勧告を踏まえた職員給与の対応について
- ・職員の配偶者の遠隔地勤務に対する対応について
- ・次期中期計画の検討状況について
- ・その他

12月1日(金) 第4回 於：食環協議室 (ハイブリッド)

- ・業務報告
- ・職員の配偶者の遠隔地勤務に対する対応について
- ・次期中期計画の検討状況について
- ・その他

2024年

1月29日(月) 第5回 於：食環協議室 (ハイブリッド)

- ・業務報告
- ・次期中期計画(案)について
- ・次年度事業計画(案)、予算の考え方について
- ・次期役員候補について

- ・その他

3月11日（月）第6回 於：食環協会議室（ハイブリッド）

- ・次期中期計画（案）について
- ・2024年度予算（案）及び会費、事業計画（案）について
- ・第2回理事会提出議案について
- ・次期役員候補者について
- ・業務報告
- ・その他

企画委員会

2023年

4月27日（木）第1回 於：食環協会議室（ハイブリッド）

- ・第24回環境美化教育優良校等表彰事業について
- ・第8期中期計画について
- ・アダプト・プログラム助成事業について
- ・先生向け環境学習ガイド（改訂版）の提供について
- ・2023年度通常総会議案について
- ・その他・連絡事項

5月25日（木）第2回 於：食環協会議室（ハイブリッド）

- ・第8期中期計画について
- ・第24回環境美化教育優良校等表彰事業について
- ・アダプト・プログラム助成事業について
- ・50周年記念活動について
- ・その他・連絡事項

6月29日（木）第3回 於：食環協会議室（ハイブリッド）

- ・第8期中期計画について
- ・第24回環境美化教育優良校等表彰事業について
- ・アダプト・プログラム助成事業について
- ・50周年記念活動について
- ・その他・連絡事項

7月27日(木) 第4回 於：食環協会議室 (ハイブリッド)

- ・第8期中期計画について
- ・第24回環境美化教育優良校等表彰事業について
- ・アダプト・プログラム助成事業について
- ・50周年記念活動について
- ・その他・連絡事項

9月28日(木) 第5回

於：アサヒグループ本社ビル12F 第2プレゼンルーム (ハイブリッド)

【第1部】

- ・第8期中期計画について
- ・第24回環境美化教育優良校等表彰事業について
- ・アダプト・プログラム助成事業について
- ・50周年記念活動について
- ・その他・連絡事項

【第2部】

アサヒユウアス様のプレゼンテーション

サステナ×新規事業に取り組むアサヒユウアスの事業活動
～資源循環と地域貢献のマネタイズ～

10月26日(木) 第6回 於：食環協会議室 (ハイブリッド)

- ・第8期中期計画について
- ・第24回環境美化教育優良校等表彰事業について
- ・アダプト・プログラム助成事業について
- ・50周年記念活動について
- ・その他・連絡事項

11月30日(木) 第7回 於：食環協会議室 (ハイブリッド)

議題1：第8期中期計画

- ・地方連絡会議、広報について
- ・ワーキンググループについて

議題2：事業進捗共有

- ・環境美化教育優良校表彰事業
- ・アダプト・プログラム助成事業

- ・ 50周年記念活動

その他・連絡事項

2024年

1月25日(木)第8回 於：食環協会議室 (ハイブリッド)

議題1：第8期中期計画

- ・ アダプト・プログラム助成活動WG
- ・ 学校表彰・環境教育支援WG
- ・ 地連の未来WG
- ・ 広報WG
- ・ 容器ごみ発生調査・研究WG

議題2：事業進捗共有

- ・ 環境美化教育優良校表彰事業
- ・ アダプト・プログラム助成事業
- ・ 50周年記念活動

その他・連絡事項

2月29日(木)第9回 於：食環協会議室 (ハイブリッド)

議題1：事業進捗共有

- ・ 環境美化教育優良校等表彰最優秀校表彰式アンケートまとめ

議題2：第8期中期計画WG進捗共有

- ・ 学校表彰・環境教育支援WG
- ・ アダプト・プログラム助成事業WG
- ・ 地連の未来WG
- ・ 広報WG
- ・ 容器ゴミ発生調査研究WG

その他・連絡事項

3月28日(木)第10回 於：食環協会議室 (ハイブリッド)

- ・ 第24回環境美化教育優良等表彰事業
- ・ 理事会報告
- ・ 各ワーキンググループ進捗報告
- ・ その他自由討議議題

別紙 1

会員団体 (2024 年 3 月 31 日現在)

(敬称略)

会 員 名	代 表 者	住 所
コカ・コーラ協会	会 長 佐々木康行	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 4-6-3 電話 070(2795)4933
一般社団法人 全国清涼飲料連合会	会 長 松尾 嘉朗	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-9-2 PMO神田岩本町 2 階 電話 03(6260)9260
一般社団法人 全国トマト工業会	会 長 山口 聡	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 1 5-1 8 3 階 電話 03(3639)9666
一般社団法人 日本果汁協会	会長理事 宮崎 正義	〒105-0014 東京都港区芝 3-3-1 4 ニットクビル 6 階 電話 03(6275)1761
日本コーヒー飲料協会	会 長 朝田 文彦	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-9-2 PMO神田岩本町 2 階 一般社団法人全国清涼飲料連合会内 電話 03(6260)9257
ビール酒造組合	会 長 代表理事 山田 賢治	〒104-0061 東京都中央区銀座 1-1 6-7 銀座大栄ビル 1 0 階 電話 03(3561)8386

別紙2

役 員

(2024年3月31日現在)

会長	那須 俊一	一般社団法人全国清涼飲料連合会
理事	大角 亨	一般財団法人食品産業センター
理事	加治木 浩則	一般社団法人全国清涼飲料連合会
理事	川村 和彦	一般社団法人日本果汁協会
理事	岸野 博行	ビール酒造組合
理事	小後摩 美絵	一般社団法人全国トマト工業会
理事	津垣 修一	コカ・コーラ協会
理事	中村 知弘	日本コーヒー飲料協会
理事（専務）	山本 景一	事務局
監事	山田（眞島）早苗	一般社団法人日本果汁協会
監事	綿田 圭一	一般社団法人全国トマト工業会

(五十音順、敬称略)

2023年度中の役員の異動は次のとおり。

- ① (2023年3月29日をもって理事青木庸三氏が辞任され、)4月7日付で津垣修一氏が後任の理事に就任。
- ② 2023年6月5日をもって理事田辺義貴氏が辞任され、同日付で後任として大角亨氏が後任の理事に就任。
- ③ 2023年9月30日をもって理事岡本晃忠氏が辞任され、10月13日付で加治木浩則氏が後任の理事に就任。
- ④ 2023年11月1日をもって監事齋藤（横谷）いづみ氏が辞任され、11月13日付で山田（眞島）早苗氏が後任の監事に就任。

別紙 3

2023年度アダプト・プログラム助成制度 助成団体

【助成金コース】

	団体名	アダプト・プログラム制度名	登録自治体／部署
1	社会福祉法人紫波会 グループホーム やすらぎ	紫波まちピカ応援プログラム	岩手県紫波町産業部環境課
2	気仙沼の海辺を守る会	みやぎスマイルビーチ・プログラム	宮城県土木部河川課
3	ふるさとの川・荒川づくり協議会	ふくしまきれいにし隊	福島市環境部環境課
4	取手市スポーツ協会グラウンドゴルフ部	公共施設の里親制度	取手市総務部市民協働課
5	とりでポイ捨てアート	公共施設の里親制度	取手市総務部市民協働課
6	みどりの東児童クラブ	アダプト・ア・パーク	つくば市建設部公園・施設課
7	NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会	栃木市「道路等のアダプト」制度	栃木市都市建設部道路河川維持課
8	エイトクラブ	町田市公益的活動団体制度	町田市都市づくり部公園緑地課
9	鎌倉古道・歴史遺産の会	町田市公益的活動団体制度	町田市都市づくり部公園緑地課
10	玉川学園松風台自治会	町田市公益的活動団体制度	町田市都市づくり部公園緑地課
11	Peace Road MachiYoko	町田市公益的活動団体制度	町田市都市づくり部公園緑地課
12	本町田東急住宅自治会	町田市公益的活動団体制度	町田市都市づくり部公園緑地課
13	並木町会美化委員会	町田市アダプト・ア・ロード事業	町田市道路部道路管理課
14	稲城グリーン化プロジェクト	稲城市公共施設アダプト制度（公園・緑地）	稲城市都市環境整備部緑と環境課
15	境川清掃ボランティアの会ふじさわ	美化ネットふじさわ	藤沢市市民自治部市民自治推進課
16	西方町内会 美化倶楽部	美化ネットふじさわ	藤沢市市民自治部市民自治推進課
17	飯島区河川愛護会	河川愛護活動支援事業	長野県建設部河川課
18	信州継美隊 大北支部	河川愛護活動支援事業	長野県建設部河川課
19	諏訪ユネスコ協会	諏訪湖アダプト・プログラム	長野県建設部河川課
20	信州継美隊 安曇野支部	信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム）	長野県建設部道路管理課
21	新荒田川をきれいにする会	岐阜版アダプト・プログラム”ぎふまち育て隊”	岐阜市市民協働推進部市民活動交流センター
22	地域コミュニティどんぐりぎふはしま	羽島市公共施設アダプトプログラム（公共施設里親制度）	羽島市市民協働部市民協働課
23	大府学童保育所 どんこクラブ	大府市公共施設養子縁組制度（アダプトプログラム）	大府市市民協働部協働推進課
24	ミズベリング岩倉・五条川	アダプトプログラム	岩倉市市民部環境保全課
25	光台八丁目木こり隊	精華町クリーンパートナー	京都府精華町事業部建設課
26	カサブランカ	奈良市アダプトプログラム推進事業	奈良市市民部地域づくり推進課
27	特定非営利活動法人 和歌山YMCA	アダプション・プログラム	和歌山市市民部自治振興課
28	久代自治会	浜田市アダプトプログラム	浜田市市民生活部環境課
29	アイメディア株式会社（AMDクリーンクラブ）	広島市まちの美化に関する里親制度	広島市環境局業務部業務第一課
30	伊予小松ライオンズクラブ	えひめ愛ロード・サポーター事業、愛リバー・サポーター制度	愛媛県土木部道路都市局道路維持課、土木部河川課
31	田代外町区	鳥栖市道路里親制度	佐賀県鳥栖市建設部維持管理課

【清掃グッズコース】

	団体名	アダプト・プログラム制度名	登録自治体／部署
1	釧路子ども劇場	釧路市クリーンパートナー	釧路市市民環境部環境事業課
2	村井建設株式会社	釧路市クリーンパートナー制度	釧路市市民環境部環境事業課
3	株式会社小野建設	雄勝地域アダプト・プログラム	秋田県雄勝地域振興局建設部用地課
4	明治安田生命 湯沢営業所	雄勝地域アダプト・プログラム	秋田県雄勝地域振興局建設部用地課
5	替所458微笑会	ふれあいの道路愛護事業 マイロードサポーター	山形県土整備部道路保全課
6	向瀬上力行会	ふくしまきれいにし隊	福島市環境部環境課
7	シルバー大学校南校 同窓会栃木支部12班	栃木市「道路等のアダプト」制度 (道路・河川)	栃木市都市建設部道路河川維持課
8	シルバー大学校南校 栃木市在住者の会	栃木市「道路等のアダプト」制度 (道路・河川)	栃木市都市建設部道路河川維持課
9	シルバー大学校 同総会 栃木支部9班	栃木市「道路等のアダプト」制度 (道路・河川)	栃木市都市建設部道路河川維持課
10	栃木県シルバー大学校南校同窓会藤岡支部	栃木市「道路等のアダプト」制度 (道路・河川)	栃木市都市建設部道路河川維持課
11	三ツ子沢区	たかさきアダプトまち美化活動事業	高崎市建設部管理課
12	飯能衛生株式会社	飯能市道路美化活動団体制度	飯能市建設部道路公園課
13	八千代オイコス	環境美化ボランティア制度	八千代市公園緑地課
14	有明環境美化ボランティア	東京ふれあいロード・プログラム	東京都建設局道路管理部路政課
15	株式会社安藤・間	東京ふれあいロード・プログラム	東京都建設局道路管理部路政課
16	鶴二おやじたちの会	町田市公益的活動団体制度	町田市都市づくり部公園緑地課
17	パートナーシップ善行	美化ネットふじさわ	藤沢市市民自治部市民自治推進課
18	地縁団体 竹橋振興会	いしかわ我がまちアダプト制度 地域連携河川環境創出事業	石川県土木部河川課
19	株式会社田丸グリーン基金	笛吹市アダプト・プログラム	笛吹市市民環境部環境推進課
20	株式会社岡谷組	河川愛護活動支援事業	長野県建設部河川課
21	常盤工業株式会社 諏訪支店	諏訪湖アダプト・プログラム	長野県建設部河川課
22	株式会社ミクロ発條	諏訪湖アダプト・プログラム	長野県建設部河川課
23	福島グリーンランド保全の会	信州ふるさとの道ふれあい事業 (アダプトシステム)	長野県建設部道路管理課
24	社会福祉法人 樺の木福祉会 就労センター武石ふれあい	信州ふるさとの道ふれあい事業 (アダプトシステム)	長野県建設部道路管理課
25	株式会社アルファ・パートナー	岐阜版アダプト・プログラム”ぎふまち育て隊”	岐阜市市民協働推進部市民活動交流センター
26	河春電気株式会社	岐阜版アダプト・プログラム”ぎふまち育て隊”	岐阜市市民協働推進部市民活動交流センター
27	ドライビングサービス	岐阜版アダプト・プログラム”ぎふまち育て隊”	岐阜市市民協働推進部市民活動交流センター
28	株式会社横山工務店	岐阜版アダプト・プログラム”ぎふまち育て隊”	岐阜市市民協働推進部市民活動交流センター
29	希光建設株式会社	大府市公共施設養子縁組制度 (アダプトプログラム)	大府市市民協働部協働推進課
30	共和東ラジオ体操友の会	大府市公共施設養子縁組制度 (アダプトプログラム)	大府市市民協働部協働推進課
31	生活介護ばすてる	大府市公共施設養子縁組制度 (アダプトプログラム)	大府市市民協働部協働推進課
32	マルス東ヶ丘環境まもり隊	東浦町公共施設アダプトプログラム	愛知県東浦町企画政策部住民自治課
33	グリーンロード長岡京停車場	さわやかボランティア・ロード	京都府乙訓土木事務所企画調整担当
34	川北連合振興町会	大阪アダプト・リバー・プログラム	大阪府都市整備部河川室河川環境課

【清掃グッズコース】（続き）

	団体名	アダプト・プログラム制度名	登録自治体／部署
35	三國製薬工業株式会社	大阪アダプト・リバー・プログラム	大阪府都市整備部河川室河川環境課
36	MR S Hお掃除隊	高砂市アダプトプログラム推事業	高砂市市民部市民窓口室地域振興課
37	TAKASAGO Green レンジャー with green bird	高砂市アダプトプログラム推事業	高砂市市民部市民窓口室地域振興課
38	竜のプロジェクト	高砂市アダプトプログラム推事業	高砂市市民部市民窓口室地域振興課
39	二丁目朱雀の会	奈良市アダプトプログラム推進事業	奈良市市民部地域づくり推進課
40	トライ式高等学院 倉敷キャンパス	倉敷市地域社会ボランティア「アダプト・プログラム」	倉敷市企画財政局市民協働推進部市民活動推進課
41	北立石自治会	香川さわやかロード	香川県土木部道路課
42	久留米ガス株式会社・くるめ協働CASEPJ共同体	くるめクリーンパートナー	久留米市環境部環境政策課
43	株式会社フジエアテック	道路アダプト	長崎県長崎振興局建設部管理課



10 栃木県シルバー大学校南校同窓会藤岡支部
（栃木市）



41 北立石自治会（香川県三豊市）

別紙 4

第24回環境美化教育優良校等表彰受賞校

【最優秀校4校】

農林水産大臣賞	青森県	鱸ヶ沢町立舞戸小学校
環境大臣賞	京都府	舞鶴市立大浦小学校
協会会長賞	徳島県	松茂町立長原小学校
文部科学大臣賞	鹿児島県	屋久島町立金岳小中学校

〈最優秀校 表彰式典〉



【優秀校6校】

新潟県	新潟市立岡方第一小学校
富山県	高岡市立太田小学校
愛知県	田原市立泉小学校
山口県	上関町立上関中学校・上関小学校
高知県	高知市立高知特別支援学校
熊本県	南関町立南関第二小学校



〈優秀校：高知県 高知特別支援学校〉

【優良校28校】

宮城県	石巻市立湊中学校	和歌山県	田辺市立田辺第三小学校
秋田県	三種町立山本中学校	島根県	安来市立第一中学校
山形県	天童市立成生小学校	岡山県	吉備中央町立下竹荘小学校
福島県	南相馬市立鹿島中学校	愛媛県	松野町立松野中学校
茨城県	桜川市立桃山学園	福岡県	古賀市立小野小学校
栃木県	真岡市立物部小・中学校	佐賀県	佐賀市立中川副小学校
群馬県	桐生市立菱小学校	長崎県	佐世保市立宇久小学校・宇久中学校
千葉県	市川市立宮田小学校	大分県	大分市立植田東中学校
東京都	稲城市立稲城第四中学校	宮崎県	宮崎市立本郷小学校
神奈川県	湘南白百合学園小学校		
石川県	能美市立辰口中学校		
山梨県	大月市立猿橋中学校		
長野県	諏訪市立城南小学校		
岐阜県	養老町立上多度小学校		
静岡県	三島市立錦田中学校		
三重県	四日市市立内部中学校		
滋賀県	東近江市立朝桜中学校		
大阪府	寝屋川市第一中学校区(街の学校SN)		
兵庫県	神戸市立高津橋小学校		



〈優良校：岐阜県 養老町立上多度小学校〉



環境美化教育優良校表彰事業のAIテキストマイニングを活用した時代変化分析

佐藤克彦 (公益社団法人 食品容器環境美化協会)

【背景】

学校教育現場の課題と解決策

- 社会背景
 - グローバル化・情報化・少子高齢化など急激な社会の変化
- 課題
 - 高度化・複雑化している社会課題・時代の変化を受け入れた柔軟な対応
- 対応の方向
 - 「地域とともにある学校」への転換 (様々な潮流が生み出ている人材教育像の一つ)
- 実現手段
 - 「個に応じた指導」と「協働的な学び」

産業界の課題と解決策

- 課題
 - 社会の持続可能性確保のために循環型社会への変革
- 政策・制度面の背景
 - 第四次循環型社会形成推進基本計画
 - 「地域循環共生圏形成による地域活性化」
 - 「ライフサイクル全体での徹底的な資源循環」
 - 「適正処理の推進と環境再生」
 - 「災害廃棄物処理体制の構築」
 - 「適正な国際資源循環体制の構築と循環産業の海外展開」
 - 「循環分野における基盤整備」の将来像が提示

【研究仮説】

環境教育の推進は、地域との学びを通じ、その内容が社会課題に対応した内容に変化する。
よって、環境教育の推進は、長期的な社会課題の解決に貢献する可能性を有する。

【方法】

環境美化教育優良校表彰事業の概要

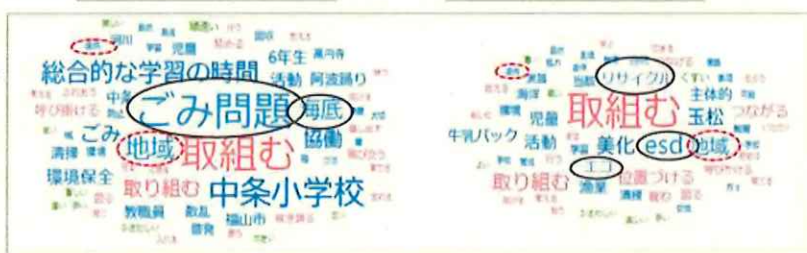
- 表彰対象校
 - 「公共の場所の美化」
 - 「飲料容器等のリサイクル」を実施し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校等
- 推薦フロー
 - 都道府県から推薦のあった小・中学校
 - ↓ 有識者による審査
 - 最優秀校を4校選定

AIテキストマイニングによる分析

- 分析対象文書
 - 推薦資料
 - 「推薦機関が受賞候補者を推薦する理由」
 - 「活動の独自性・活動の特徴」
 - 「地域の環境美化への貢献」
- 比較
 - 2022年度最優秀校4校と2016年度最優秀校4校

【結果】

2016年度最優秀校の活動



2022年度最優秀校の活動

↑ ワードクラウドの比較
スコアが高い単語を複数選択し、値にのびた大きさを図示。
○: 年次に特徴的な代表的単語
●: 共通している代表的単語

単語分類 →

青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞

※ユーザーローカル テキストマイニングツール
(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

【環境をめぐる社会動向】

- 1999年 循環経済ビジョン
- 2015年 「持続可能な開発目標」
- 2019年 「資源効率性向上」
- 2020年 循環経済ビジョン2020
- 経済活動としての循環経済



【考察】

地域・連携による実践が活動の共通基盤
年次を経て主題が変化「ごみ問題」から「資源循環 (リサイクル・エコ)」へ
2016年当時いち早く「海洋ごみ」への関心が顕著、
2022年では、「グローバル化」や「経済性両立」への流れが顕著
↓
環境教育の推進は、長期的な社会課題の解決に貢献

2016年度最優秀校の活動



2022年度最優秀校の活動



公益社団法人
食品容器環境美化協会
The Beverage Industry Environment Beautification Association

一般社団法人 全国清涼飲料連合会
一般社団法人 全国トマト工業協会

一般社団法人 日本果汁協会
日本ソーシー飲料協会
コカ・コーラ協会
ビール醸造組合

別紙6

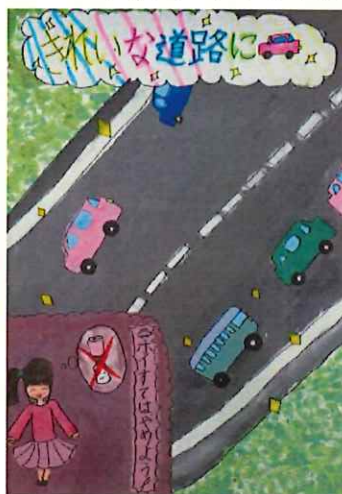
協賛：「協会会長賞」を授与

○埼玉県、さいたま市、埼玉県道路協会
「令和5年度（第64回）道路愛護ポスターコンクール」

<小学生・低学年の部>



<小学生・中学年の部>



<小学生・高学年の部>



<中学生の部>



○北海道「令和5年度（2023年度）ごみの散乱防止などに関するポスター及び標語

<小学生ポスター>



<中学生ポスター>



<標語の部>

ポイ捨ては 地球も心も よごれてく

別紙7

2023年度地方連絡会議 ブロック会議開催

4年ぶりの対面の形（ハイブリッド方式）により、福岡、大阪、東京の3ヶ所にて開催。地方連絡会議メンバーのリアル出席は、福岡9名、大阪13名、東京22名。

- (1)開催日時 福岡 7月 4日 (火) 15:00～17:30
大阪 7月 19日 (水) 〃
東京 8月 1日 (火) 〃



- (2)開催場所 TKP会議室

- ### (3) 登壇者・講演内容

- ①食品容器環境美化協会 那須会長
挨拶

- ②食品容器環境美化協会 佐藤事務局長
「食環協の概要・活動、地方連絡会議の役割」



- ③地方連絡会議「地方連絡会議活動報告」
- 福岡：鹿児島地連 主宰幹事 藤久保敦士 様
- 大阪：滋賀地連 幹事 山名裕之 様
- 東京：群馬地連 昨年度主宰幹事 橋本秀也 様

- ④全国清涼飲料連合会 専務理事 那須俊一 様
「清涼飲料市場と全清飲の環境への取組み」

- ⑤ビール酒造組合「ビール酒造組合の環境への取組み」
- | | |
|--------|--------|
| 福岡：審議役 | 金井秀樹 様 |
| 大阪：審議役 | 川野輪隆 様 |
| 東京：審議役 | 水谷正憲 様 |



- ⑥日本容器包装リサイクル協会 企画広報部長 長塚真行 様
「容器包装リサイクル制度について」

- ⑦ J E A N 事務局長・副代表理事 小島あずさ 様 (web)
「美しい海をこどもたちへ～プラスチックによる海洋汚染～」

貸 借 対 照 表

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金	42,420	34,505	7,915
普通預金	44,090,281	48,561,073	△ 4,470,792
前払費用	379,940	379,940	0
貯蔵品	58,075	73,106	△ 15,031
流動資産合計	44,570,716	49,048,624	△ 4,477,908
2. 固 定 資 産			
(1)特 定 資 産			
退職給付引当資産	20,709,500	19,328,300	1,381,200
HPリニューアル準備引当資産	4,400,000	4,400,000	0
特定資産合計	25,109,500	23,728,300	1,381,200
(2)そ の 他 固 定 資 産			
什器備品	5	5	0
電話加入権	160,000	160,000	0
敷金・保証金	1,561,920	1,561,920	0
その他固定資産合計	1,721,925	1,721,925	0
固定資産合計	26,831,425	25,450,225	1,381,200
資 産 合 計	71,402,141	74,498,849	△ 3,096,708
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	1,631,199	1,617,342	13,857
預り金	293,643	262,878	30,765
流動負債合計	1,924,842	1,880,220	44,622
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	20,709,500	19,328,300	1,381,200
固定負債合計	20,709,500	19,328,300	1,381,200
負 債 合 計	22,634,342	21,208,520	1,425,822
III. 正味財産の部			
1. 一 般 正 味 財 産	48,767,799	53,290,329	△ 4,522,530
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,400,000)	(4,400,000)	(0)
正 味 財 産 合 計	48,767,799	53,290,329	△ 4,522,530
負債及び正味財産合計	71,402,141	74,498,849	△ 3,096,708

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
受 取 会 費	75,349,000	75,574,000	△ 225,000
雑 収 益	228	242	△ 14
経 常 収 益 計	75,349,228	75,574,242	△ 225,014
(2) 経 常 費 用			
事 業 費	67,994,696	63,792,729	4,201,967
役 員 報 酬	7,200,000	7,200,000	0
給 料 手 当	15,267,243	12,486,003	2,781,240
臨 時 雇 賃 金	29,100	20,700	8,400
退 職 給 付 費 用	946,800	667,100	279,700
法 定 福 利 費	1,914,143	1,318,900	595,243
旅 費 交 通 費	1,614,880	618,663	996,217
通 信 運 搬 費	3,818,638	3,853,369	△ 34,731
消 耗 什 器 備 品 費	0	306,240	△ 306,240
消 耗 品 費	422,027	4,500,316	△ 4,078,289
印 刷 製 本 費	1,732,085	1,445,158	286,927
光 熱 水 料 費	213,192	264,996	△ 51,804
賃 借 料	4,595,580	4,590,190	5,390
諸 謝 金	6,471,009	4,641,398	1,829,611
支 払 負 担 金	2,522,448	1,979,512	542,936
支 払 助 成 金	2,586,232	2,660,017	△ 73,785
委 託 費	17,646,995	16,726,832	920,163
雑 費	1,014,324	513,335	500,989
管 理 費	11,877,062	11,603,980	273,082
役 員 報 酬	4,800,000	4,800,000	0
給 料 手 当	2,781,184	2,616,005	165,179
退 職 給 付 費 用	434,400	285,000	149,400
法 定 福 利 費	1,011,645	956,766	54,879
福 利 厚 生 費	113,401	103,163	10,238
会 議 費	337,137	326,136	11,001
旅 費 交 通 費	5,814	4,660	1,154
通 信 運 搬 費	119,998	89,614	30,384
消 耗 什 器 備 品 費	0	76,560	△ 76,560
消 耗 品 費	66,820	47,438	19,382
印 刷 製 本 費	94,938	94,663	275
光 熱 水 料 費	53,298	66,250	△ 12,952
賃 借 料	1,148,896	1,147,548	1,348
渉 外 費	120,000	120,000	0
雑 費	789,531	870,177	△ 80,646
経 常 費 用 計	79,871,758	75,396,709	4,475,049
当 期 経 常 増 減 額	△ 4,522,530	177,533	△ 4,700,063
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
他 会 計 振 替 額			0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 4,522,530	177,533	△ 4,700,063
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	53,290,329	53,112,796	177,533
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	48,767,799	53,290,329	△ 4,522,530
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	48,767,799	53,290,329	△ 4,522,530

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金として	42,420
	普通預金	三菱UFJ銀行新橋支店 みずほ銀行芝支店	運転資金として 運転資金として	18,602,621 25,487,660
	前払費用	前払家賃他		379,940
	貯蔵品	切手他		58,075
流 動 資 産 合 計				44,570,716
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	(普通預金) みずほ銀行芝支店	職員 2 名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。	15,246,745
		(定期預金) 三菱UFJ銀行新橋支店		5,462,755
	HPリニューアル準備引当資産	(普通預金) みずほ銀行芝支店	ホームページの大幅改定に備えた特定費用準備資金である。	4,400,000
	特 定 資 産 合 計			25,109,500
その他の固定資産	什器備品	金庫他	公益事業と管理運営のための共用財産であり、80%を公益目的事業に、20%を管理運営の業に供している。	5
	電話加入権		公益事業と管理運営のための共用財産であり、80%を公益目的事業に、20%を管理運営の業に供している。	160,000
	敷金・保証金	事務所保証金	公益事業と管理運営のための共用財産であり、80%を公益目的事業に、20%を管理運営の業に供している。	1,561,920
	その他の固定資産 合 計			1,721,925
固 定 資 産 合 計				26,831,425
資 産 合 計				71,402,141
(流動負債)	未払金	事業未払金	公益目的事業の未払金である。	1,631,199
	預り金	源泉所得税他		293,643
流 動 負 債 合 計				1,924,842
(固定負債)	退職給付引当金		職員 2 名に対する退職金の支払いに備えたものである。	20,709,500
固 定 負 債 合 計				20,709,500
負 債 合 計				22,634,342
正 味 財 産				48,767,799

(参考)

収 支 計 算 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
会 費 収 入	75,349,000	75,349,000	0	
雑 収 入	1,000	228	△ 772	
事業活動収入計	75,350,000	75,349,228	△ 772	
2.事業活動支出				
事業費支出	66,752,000	67,047,896	295,896	
アダプト・プログラムの普及推進費支出	9,786,000	9,308,767	△ 477,233	
散乱防止啓発費支出	21,501,000	22,182,453	681,453	
環境美化実践教育支援	16,144,000	17,653,402	1,509,402	
地域に応じた啓発活動	5,357,000	4,529,051	△ 827,949	
広報活動の総合的強化費支出	5,580,000	5,239,504	△ 340,496	
広報活動の充実	5,150,000	4,811,380	△ 338,620	
散乱情報の収集・提供	430,000	428,124	△ 1,876	
事業間接費支出	29,885,000	30,317,172	432,172	
事業人件費支出	23,935,000	24,381,386	446,386	
事業事務諸費支出	5,950,000	5,935,786	△ 14,214	
管理費支出	12,463,000	11,442,662	△ 1,020,338	
人件費支出	8,724,000	8,592,829	△ 131,171	
事務費支出	3,739,000	2,489,833	△ 889,167	
事業活動支出計	79,215,000	78,490,558	△ 724,442	
事業活動収支差額	△ 3,865,000	△ 3,141,330	723,670	
II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
特定資産取崩収入	100,000	0	△ 100,000	
退職給付引当資産取崩収入	100,000	0	△ 100,000	
投資活動収入計	100,000	0	△ 100,000	
2.投資活動支出				
特定資産取得支出	1,333,000	1,381,200	48,200	
退職給付引当資産取得支出	1,333,000	1,381,200	48,200	
投資活動支出計	1,333,000	1,381,200	48,200	
投資活動収支差額	△ 1,233,000	△ 1,381,200	△ 148,200	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1.財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	0		0	
当期収支差額	△ 5,098,000	△ 4,522,530	575,470	
前期繰越収支差額	47,168,404	47,168,404	0	
次期繰越収支差額	42,070,404	42,645,874	575,470	

収支計算書に対する注記

(注) 1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金・未収金・前払費用・未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	34,505	42,420
普通預金	48,561,073	44,090,281
前払費用	379,940	379,940
貯蔵品	73,106	58,075
合 計	49,048,624	44,570,716
未払金	1,617,342	1,631,199
預り金	262,878	293,643
合 計	1,880,220	1,924,842
次期繰越収支差額	47,168,404	42,645,874